

国際人種差別撤廃デー 高等弁務官が声明

2024/03/21

国連人権高等弁務官事務所

国際人種差別撤廃デーに際し、人権高等弁務官が声明を公表した。内容は以下のとおり。強力な反人種主義運動が政府を揺るがし平等な権利を要求し、各国は新たな法を制定し、積極的な是正措置とった。しかしながら、人種主義がない国も、過去について十分な説明をした国も存在しない。多くの人々は人間性の歴史的否定の結果に耐え、植民地主義の遺恨に苦しんでいる。何世代ものアフリカ系の人々は非人間的・犯罪的な奴隷とされ、民族的・種族的・言語的・宗教的少数者は人権を踏みにじられてきた。ロマの人々、先住民その他の集団も同様である。「アフリカ系の人々のための国際の10年」は今年で終了するが、彼らの承認・正義・発展に向けた努力は今後も続けられなければならない。また、第2次10年を定める呼びかけにも加わりたい。繁栄する社会は、人類社会の壮大な多様性を祝福し、全ての人々の正義・尊厳・平等・尊重の原則を受け入れるものである。